

臨床研究「脊髄硬膜・硬膜外動静脈瘻の鑑別診断と治療成績の解明」

のための医療データ提供のお願い

当院では、希少疾患である脊髄硬膜・硬膜外動静脈瘻の病態解明を目的とした、多施設共同後ろ向き研究に参加しております。

研究の目的

脊髄硬膜・硬膜外動静脈瘻の臨床症候と画像所見を収集し、それを詳細に検討し、鑑別診断と治療法を明らかにすることを目的とします。

脊髄硬膜・硬膜外動静脈瘻とは毛細血管を介さずに動脈から静脈に血流が短絡する疾患で、歩行障害・排尿障害・しびれ・痛みなどの進行性の神経脱落症状をきたす治療困難な脳神経外科疾患の一つです。こうした脊髄動静脈瘻は稀なため、大学病院の脳神経外科施設でも年に1-2件の経験に限られています。また、脳と比較して、脊髄は小さく重要な機能局在があり血管手術が困難です。これらの理由のため、現時点では診断や治療方法が確立していません。

研究対象者

2009年1月1日から2018年12月31日の間に、脊髄硬膜・硬膜外動静脈瘻のために大阪大学医学部附属病院に入院(あるいは通院)し、治療・画像検査をされた方

研究期間

倫理審査委員会承認後～2021年3月31日まで

研究の方法

血管造影所見を解析し、シャントの栄養血管、シャント部位、導出動脈の状態から、疾患の血管構築を検討し、病態究明を行ないます。

試料・情報の項目

- a.患者背景（年齢，性別，症状[神経症状，脳脊髄浮腫，出血，その他]）
- b.血管構築
 - ・シャントの存在部位（dural, epidural）とその脊髄レベル
 - ・流入動脈
 - ・流出静脈
 - ・付随所見の有無（feeder aneurysm, intranidal aneurysm, varix）
- c.治療前後のMRI所見
- d.治療内容（外科的離断術，塞栓術，保存的治療）と経過（症状経過，mRS）

試料・情報の提供の方法

匿名化した試料・情報は大阪大学医学部附属病院から代表研究施設である東京都立神経病院に郵送で送られます。対応表は大阪大学医学部附属病院の研究責任者が保管・管理します。

研究組織

代表研究施設

東京都立神経病院

既存情報の提供のみを行う機関

北海道大学、東北大学、新潟大学、獨協医科大学、群馬大学、東京大学、横浜市立大学、信州大学、名古屋大学、大阪市立大学、大阪大学、岡山大学、広島大学、愛媛大学、久留米大学、鹿児島大学、成田赤十字病院、太田記念病院、済生会福島総合病院

病院スタッフは、医療従事者としての守秘義務が課せられており、患者様の個人情報は固く守られています。また、この研究で得られた情報を取りまとめる際、患者さん個人を特定できる情報(氏名・住所・電話番号等)は記載しません。同様に、医学雑誌等に発表する場合も個人が特定できないように配慮されます。ご提供頂いた医療データは研究終了後、主任研究者が厳重に保管し、研究終了 5 年後に廃棄されます。この研究への医療データ等の提供をご辞退される場合、また研究の内容についてより詳細な情報を希望される場合やご質問等がある場合には下記の担当医師までお申し出ください(2021 年 3 月末まで)。医療データ等の提供をご辞退された場合は、連絡を受けた時点でご提供頂いた医療データは廃棄させていただきます。また、ご辞退されたことにより患者さんが治療上の不利益を受けることは一切ありません。

問い合わせ先

担当診療科 脳神経外科

担当医師 西田武生

責任医師 中村元

病院名 大阪大学医学部附属病院

住所 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-15

電話番号 06-6879-5111(大代表)